

# 吉井つるがしま里山サポートクラブ 活動報告書 (令和7年度) 2025年

7	月	日	曜日	開始	終了	場所	会員参加数
	5	7	水	14:30	17:00	杉下小学校	2名
活動名称	杉下小3年生の自然体験学習の支援					報告者: 小澤 邦彦	

## 1. 活動目的

杉下小の3年生の自然体験活動の一回目として、3年生の生徒に市民の森の紹介を行う。  
また、今年度の年間スケジュールを検討すること。

## 2. 活動内容ほか

総合学習のテーマとして、市民の森について紹介した。

特に、子供向けに「森のふしぎ」というテーマで、zg@k w¥jw@ fudjdd>

1. もりがないと生き物が生きていけないこと。
2. 森がなければ生きていけない
3. 森ができるには約30~100年もひつよう
4. みんなで、森のふしぎを、べんきょうしよう。
5. 森で、たのしく、まなび、遊んで、もりの友達になって

子ども達は、3年生の2クラス約60名であり、かぶと虫はいるのか、市民の森はいくつあるの、などの質問がありました。

終了後、今後のスケジュールに対する打ち合わせを行いました。

5月28日 1:30~2:30 五味ヶ谷市民の森 穴掘り、年輪調査

5月以降は、おおむねの想定で、日時は、今後の調整とするとのこと。

7月 七夕用竹の採集 五味ヶ谷市民の森

9月 ソーメン流し 学校敷地の森

2月 発表会

3月 焼き芋、植樹? 五味ヶ谷市民の森

藤金の森で川の体験なども考えられないかとの希望がありました。

## 3. 評価:

学校の自然体験学習が拡大していくことは、市民の森の体験者が増えることであり、望ましいと考えます。また、子ども達が森の中で、沢山の多くの興味を持つためのプログラムが必要かと思いました。

## 4. 課題

今後の自然体験について、盛り沢山の希望があるようで、どこまで対応できるかが課題です。  
今後、具体的学習内容を協議して、プログラムを作成することとなります。

### <里山参加会員>

小澤邦、小沼、吉井 集合写真無し

### <活動写真>

なし